

6月のこよみ

1日は「気象記念日」、
4日は「虫歯予防デー」、
7日は「計量記念日」、10
日は「時の記念日」、で、
11日が入梅。21日は「父
の日」、22日が「夏至」に
当たり、愈々夏がやって
きます。



'64.6

No. 12

発行 三股町
編集 総務課



6月です。そろそろつゆ
に入ります。

雨に洗われる木々の緑りは
美しく目にしみ、夜の田園

には、かえるの合唱がにぎにぎしく聞こえて参ります。
入梅は11日、雨、雨、雨の連続。しかしこの雨は農村に
とってはなくてはならない大切な雨です。そして愈々農
繁期。あちこちの田園にはせわしく牛を追う声、機械の
うなり、そして合図する声も高くはずんで、あちらに一

ねこの手も 借りたい 農繁期

群、こちらにひとむれ、共
同田植えもたけなわです。
さて雨期は病気の多い季
節。栄養と休息を十分にと

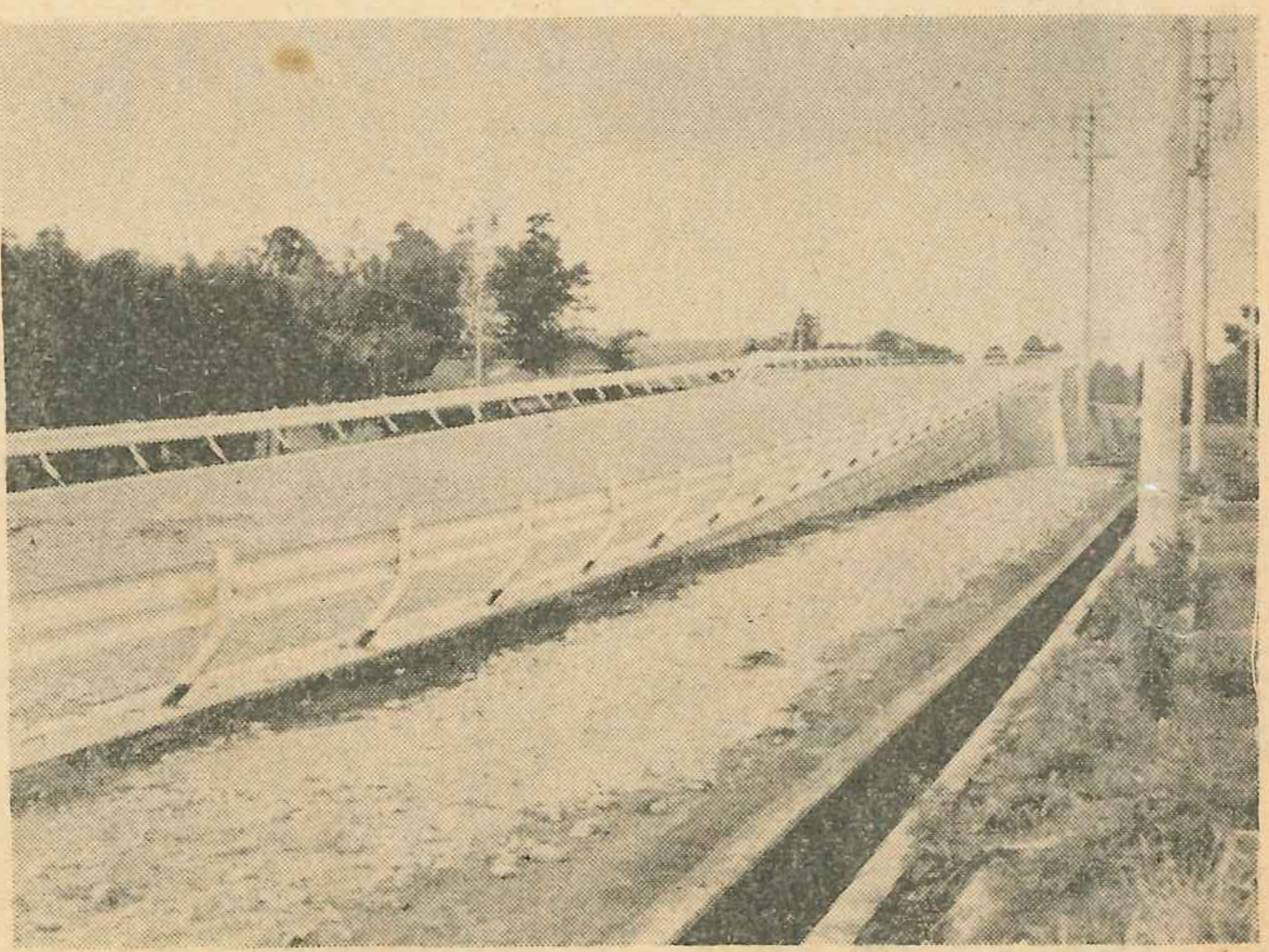
って、農繁期を無事のり超えたいものです。また、子供
達はつめたいものをほしがる季節です。おとなと一緒の
時は衛生にも気をつけますが、一人のときは食べすぎた
り、不潔になり易いものです。かねてからお互いに注意
して、雨季を健康にすごしましょう。

今、三股駅東側の新馬場
踏切りの立体化工事は県営
事業として鋭意進められて
おりますが、此の工事の完
成は九月末の予定です。
取付道路は勾配四%、巾
員九・五米、全長三三〇・
四米、橋梁は長さ一一・四
米でピー・シー型の近代的
工法が採用されておりま
す。工事は取付道路を淵脇
組、橋は清永組の手によつ
て総工事費約三、二〇〇万
円をもって目下早期完成を
目ざして施行されておりま
す。此の道路は役場附近よ

……九月末の予定……

新馬場 踏切 跨線橋の完成は

り新馬場、勝岡部落を経て
荘内町に通ずる県道で荘内
線と呼ばれておりますが、
本町内においては最も重要
な幹線道路の一つとしてそ
の利用率は高く、その上、
踏切り付近は見とおしが悪
く、危険視されていたもの
であり、その危険防止とス
ピードアップのために、全
町を挙げてその完成が待た
れております。これが完成
の暁には通行の事故防止は
勿論のこと、産業経済の能
率向上に役立つものと期待
されております。

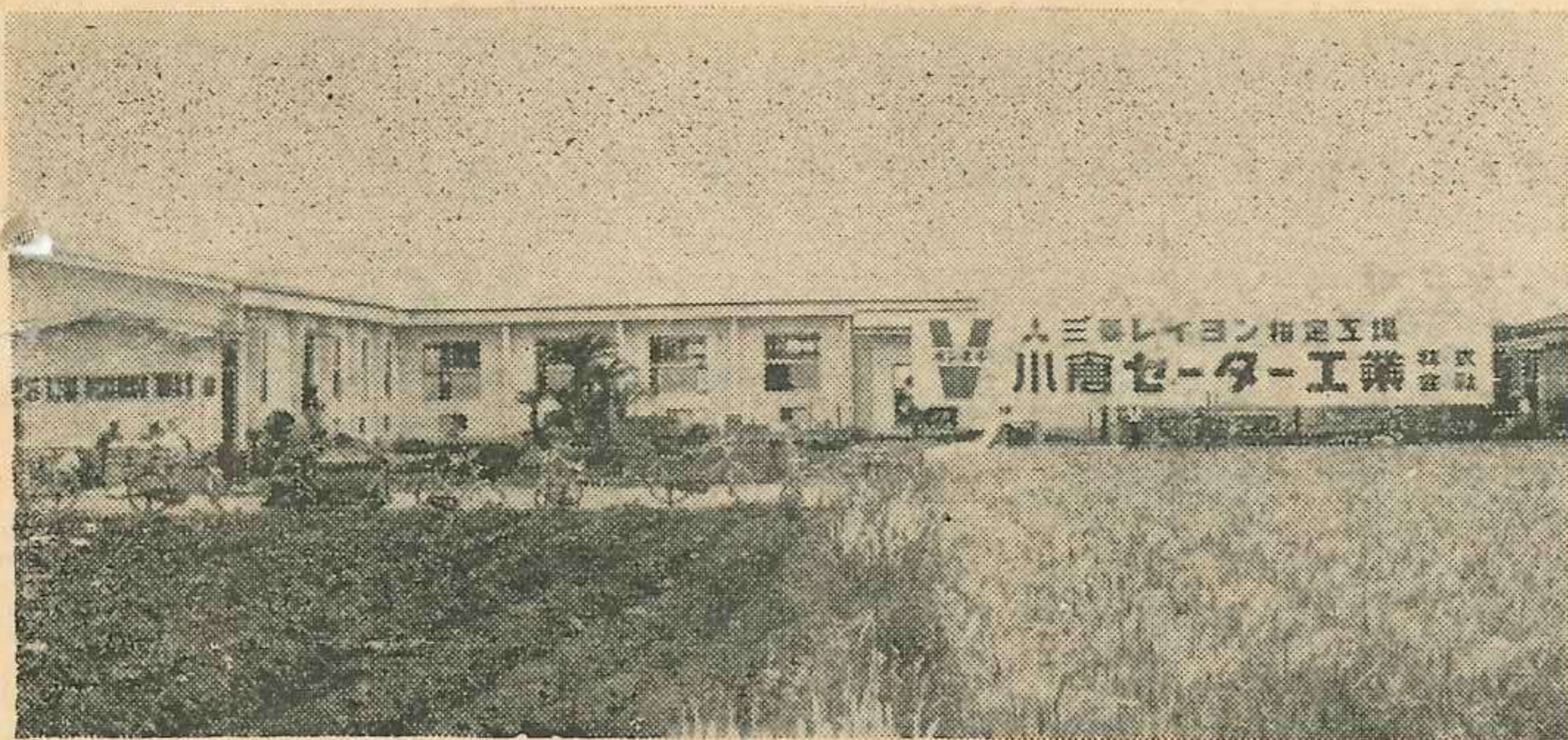


橋梁部が未だ未完成
更にこれが舗装になります

新生 小倉工業株式会社

愈々操業開始

先に操業開始した九新工業株式会社と共に本町工業開発の先駆として、今回更に新しく生まれ変わった小倉セーター工業株式会社が此の程完成、建設費二、一〇〇万円、敷地九〇〇坪、建坪三〇〇坪、都三道路にそってその近代的なモダンな姿を表わしております。



新しいも装い

六月一日より
その操業祝賀行事が五月二十八日盛大に行われ、関西財界から三菱レヨン、川越商事、レナウン商事その他関西デパート界の代表等約二〇名が出席、「小倉セーター工業株式会社の創立を期に豊かな人情味と山紫水明のこの三股に、更に工業開発へのたくましく前進を期待する」と、その壯途を励ました。

此の小倉セーター工業株式会社は我が国財界の雄、三菱レヨンの指定工場としてその系列に参加、川越商事を経て三菱ボンネル(原糸)を買入れ、最終製品まで一貫作業を行ない、セーター月産一万枚の生産能力を持ち、その製品は全国的な販売網を持つレナウン商事の販売ルートによって全国のデパート、小売店に出荷されることになっております。
従業員も完成と同時に百名に増員、そして男子寮もすでに完成し、その福利厚生施設にも大いに意を用いております。

国をあげて、否世界をあげて開催されるオリンピック東京大会もあますところあと四カ月、今やオリンピックムードは全国津々浦々に盛り上がりつつあります。

中国—東海—東京と、リレーされることになっておりますが、その聖火リレーの三股町の走者メンバー二三名がこの程推せんされました。

谷口君等二十三名 オリンピック東京大会 聖火リレー・メンバー

全世界の若人の情熱を傾ける力と技の美の祭典はオリンピックの発生、地ギリシヤより、東京競技場まで、はるばる運ばれる聖火の点火と同時にきつておとされるわけであり、沖繩、鹿児島を経て空輸された聖火の第二コー스는、来る九月九日宮崎市を起点として国道十号線を北上、大分—四国—

- 聖火リレー・メンバー
正走者 谷口誠翁 20 青年
副走者 大河内哲郎 17 西
高野瀬敏郎 17 泉ヶ丘
随走者
青年
永吉勝男 19 瀬尾和彦
19 吉行照男 19 白尾
勉 19 溝口五男 19

- 泉ヶ丘 志々目富美男 17 荒武
公一郎 17
都島 原口秀美 16 轟木孝 17
小牧良弘 17
都商 児玉信男 18 内村
俊頭 17
都工 山田弘毅 17 出水
正行 17
高城高 中石典久 18
三股中 田上富雄 14 溝口良信
14 久木山貞意 15
東中 谷口昭一 15 石川鉄雄
補欠 神宮司学 中島春久

近くバスも運行 中米 谷線拡張成る



広くのびる道

第二地区公民館の中心附近、中米より谷へ南北に横断する道路は両集落をつなぐ最も重要な路線として、その利用率も高く、先に都城、宮村間のバス路線にも指定されておりましたが、車の交叉も出来ないような状態が地域住民の間にもその拡張が強く望まれておりました。
町においてもこの路線の重要性を痛感し、その改良工事に着手、此の程部落民の積極的な協力によって延長四五〇米にわたって、巾員七米の立派な道路が見事に完成いたしました。
これで山王原經由の都城、宮村間、四回線のバスも運行されて交通の便がよ

- ◎遊漁者は必ず承認証(鑑札)を持参して下さい。
遊漁承認証料金は、
釣り 二〇〇円(年額)
投網 三〇〇円(年額)
引網 五〇〇円(年額)
遊漁承認証の交付は町商工観光課、三股町商工会の外に、次ぎの場所においても交付いたします。
- 区域
第一地区公民館 交付場所
小牧文具店
前田文具店
第四地区公民館 細山田武雄方
第五地区公民館 早田商店
尾屋家商店
高妻商店
田村商店

三股町の台所

私達の三股町は「躍進する三股町」をスローガンに、全町民の融和と団結のもとに明かるく豊かな町の建設に努力を重ねております。

その概略をお知らせいたします。
即ち、当初予算は一般会計二億四千万円、特別会計を含めて総額三億八千万円で意欲的に積極、健全の体制をとり、従前ない大型予算が編成されております。

町税は男すまでもなく私達の直接納める町民税、固定資産税等と間接的に納めるたばこ消費税、電気ガス税等の事を言っておるわけでは次に歳出の方の図表を見てみましょう。
農業の近代化、文教の振興、田園都市の建設をめざす都市計画事業、住宅の建設、その他社会福祉事業、失業対策事業など、積極的な施策があらわれておりま

次いで今年度も三六戸の町営住宅が建設されますが、その工事費とその他都三道路の舗装延長、山王原上米線の舗装工事等の都市計画事業などの土木費が三番目に多いようです。
総務費は一般的な役場事務に要する費用になります。第五番目に多いのが民生費のようですが各種社会福祉事業費、国民年金費などが含まれております。
災害復旧費は町内各所三五地区の台風、集中豪雨などによる耕地の災害復旧事業であります。
次が一般失業対策事業の労働費、そのあとが今まで国などから借り入れた資金の返済金及び利子等の公債費、その他は議会費、衛生費、商工費、消防費、諸支出金、予備費が含まれております。

以上が一般会計の歳入、歳出の予算の内容になっておりますが、その他事業目的によって七つの特別会計が設けられておりますが、その額はそれぞれ、別表のとおりとなっております。

収入 2億4千700万円
地方交付税 8,100万円
国庫支出金 5,400万円
国保 700万円
水道 700万円
国保直診 1200万円
国保直診 1200万円
国保直診 1200万円

一般会計	244,573
国民健康保険	28,211
国保直診勘定	45,452
質庫	863
ブルト一ザ一	7,250
農業共済事業	10,073
水道事業	26,130
畜産センター	10,324
計	381,876

収入 2億4千700万円
地方交付税 8,100万円
国庫支出金 5,400万円
国保 700万円
水道 700万円
国保直診 1200万円
国保直診 1200万円
国保直診 1200万円

支出 2億4千700万円
教育費 4,600万円
土木費 4,200万円
農林水産業費 4,700万円
労働費 1,500万円
災害復旧費 2,100万円
民生費 2,300万円
総務費 2,500万円

収入 2億4千700万円
地方交付税 8,100万円
国庫支出金 5,400万円
国保 700万円
水道 700万円
国保直診 1200万円
国保直診 1200万円
国保直診 1200万円

支出 2億4千700万円
教育費 4,600万円
土木費 4,200万円
農林水産業費 4,700万円
労働費 1,500万円
災害復旧費 2,100万円
民生費 2,300万円
総務費 2,500万円

収入 2億4千700万円
地方交付税 8,100万円
国庫支出金 5,400万円
国保 700万円
水道 700万円
国保直診 1200万円
国保直診 1200万円
国保直診 1200万円

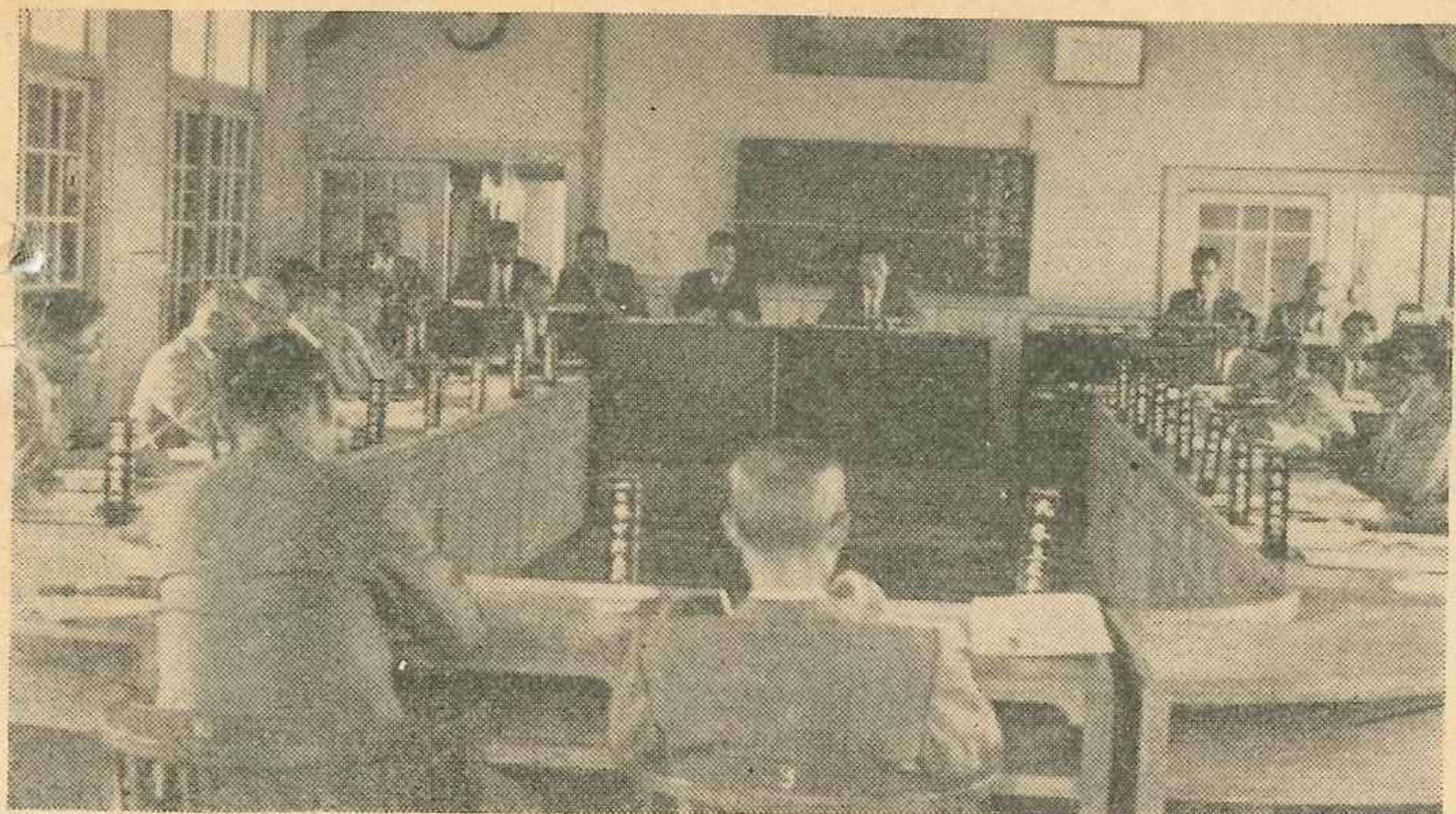
町議会一般質問(2)

政治は常に私達のため



町議会議員の一般質問状況についてはその第一号を前号にてお知らせいたしました。が今回更に第二号をお知らせいたします。

○道路の整備について
西田議員 毎年雨季になると非常に道路が



町長 雨期の対策としては失対事業により雨期前の手当てをして行きたいと思う。砂利道が非常に多いが幸い本町は沖水川があり県の許可があれば採取もそう困難ではないので、道路を巡視してやりたい。昨年本町が中心となり郡内でグレーダーを入れて管理委員会をつくり運営しているが、各町村とも好評である。こう云う機械も利用して十分な改良をして行きたいと思っている。

木田議員 町道の整備計画について町長にお伺いする。町長の土木行政に対する所の熱意は十分認められる。町内の道路は県、町道を通じ驚異的な整備が行なわれている。然しながら町道においては御承知のとおりまだ整備を要する箇所がある。

これについては町道整備計画が出来ているか。昭和三十九年度予算を見ると三〇%にも満たないものである。これから考えた場合年度計画の実施について町長としては遂行出来る見とおしがあるのかどうか。

町長 道路が産業活動の基盤であることは御承知のとおりで道路の整備については非常に負担をかけている。県道についてはおおむね私共の予算でおおむね改良がなされる。ついで、特に坂元線の長田地区の改良については昭和三十九年度は相当思いきった改良がなされるようであり、この動脈線としての交通の対策についてははいかんのないような状態にあると思っている。町道であるが、そのうち部落内の往来道路は従来里道と称して都城市あたりでは市道扱いをしていないがこのような道路がたくさんあるわけである。しかし環境改善の意味等含めて町としてこれ等の道路も町道として考えられるような道路については積極的に改善を行って御案内の御案内のとおりである。

木田議員 大体町長の御説明で分った。せつかく三ヶ年計画をたてられたので今年度計画を年度内に九〇%完成出来るような御努力を御願ひ申し上げる。

長友議員 関連で土木課長にお伺いする。昨年副議長の前の道路が改修された。ところが完成後に又掘り直して工事をする理由は何か。又町内に砂利を入れるつもりか、この二点について伺いたい。

土木課長 現在やっているのは県の方と合議して最終的な設計変更により、暗渠をやっていっているものである。第二点であるが雨期対策として建設省、土木事務所それから業者と協力してもう準備が出来ている。

土木課長 道路であります。先程も申し上げたように最終的に予算の残が出たので設計のミスではなく設計変更の指導を受けたのである。約三万八千円程度である。次に砂利であるがただ今の御質問は県道ではないかと考える。

町道の場合ほとんどかき込みである。砂利と砂のまじったものであるが大い石は除去すると云う方法でやっている。

長友議員 次に町長にお尋ねしたい。先程委員長の御質問で計画を説明されたが副議長の前から中学校までの道路と宮田石油店の前から上米に通ずる道路を是非拡張工事してほしい。理由は御承知のとおり中学生の自転車通学を見ていると危険な所が多くある。最近交通が非常に烈しいので子供が登下校に影響しわしないかと考える。一年では無理だろうが計画的にやっていたらどうか。

町長 実情はよく分っている。七米にしようとする

で設計変更して改修のこと、一旦出来上ったものを数ヶ月で又掘りくり返しているが最初の設計がまずかったのではないか。又砂利を入れる場合どう云う方法でやられるか、というのは砂利を入れて何日かたつと砂利が隅の方にいつてしまおうとお尋ねする次第である。

長友議員 ただ今の説明で安心した。二年でも三年でもいいから一年でも早く着工していただくよう御努力をお願いする。

○公営住宅の建築について
佐沢(利)議員 公営住宅の件でお伺いする。町長は他地区に比べて積極的にこれを推進していただろうが誠に当を得た施策であると感じている。今後更に積極的に推進するために勿論財源と云うこともありますが次のような場合町長は積極的に推進する意志があるかどうか伺いたい。第一は昭和三十八年度は県段階で公営住宅の補助枠が残っていたと云うことを聞いた。若しもこのような県の枠に余裕のある場合、次は先に河野建設大臣が新聞誌上で発表されたが、古い公営住宅を売却してその金で更に新しく住宅をつくる資金に充当出来るように考慮するとあつ

たがこのような方法が制度化された時積極的に進められるかどうか。

町長 昭和三十八年度については予算の残があつたと云うことは聞いていない訳であるが、私は三十八年度は一応財源的にいろいろ困難かと思う。将来の問題としては昭和三十九年度三十六戸の計画を致しておるが財政の都合如何では少しもよけい作りたいと云う気持ちがある。

もう一つ払下げの問題であるが、この件については従来建築年度の古いもので特殊な場合に限って建設省の払下げが行なわれていた。今回の建設大臣の意図は公営住宅の建築を促進させるということに根拠があるかと思われ。そこで方針がはっきりすれば払下げを積極的にしよければ住宅を建てるといふことが正しいのではないかと思つている。制度化されればそれにそつて考えて行きたい。

佐沢(利)議員 今の問題については了解した。もう一つ構造の問題でお聞きしたい。御承知のとおり住宅は非常にきれいにベニキがぬつて誠に美しい田園都市の風景である。

ところが折角のきれいな住宅の中にバラックの小屋が並んでいる。そこで町ではこれ等の小屋も規格を統一して作り、その分は家賃で考慮すると云う方法はとれないものか、この点どんなお考えか。

建築課長 ただ今の御指摘はもつともなことである。私共としては建設省から指示される面積により補助金も決まるし、それによつて予算化されるわけである。ただ今御指摘の物置きについてはなかなか予算の都合で出来兼ねる訳である。昨年から風呂場をつけることが出来るようになった。ただしその分は町で負担しなければならぬ。額はわずかだがふえると莫大となる。それだけの金がある場合は戸数をふやした方がよいということになる。御指摘の点は何とか改正させたいものだと考えている。

木田議員 現実の住宅不足は御承知のとおりであるが、公営住宅を建築することによつて年間三四五万の家賃収入があると云うようないろいろな角度から見てつくる事には賛成である。ここに特定計画の制度もあるわけであるが、当局はこれに踏

切の御意志はないか。

町長 だんだん特定計画も考えねばならぬ時期にきているのではないかと思つている。と云うのは事業をすれば土地が上がる。土地が上れば予算の執行が難しくと云うことで非常に土地の取得が困難である。それで何ヶ年分と一緒に作る計画をやつてゆくという方が好ましい方向ではないかと思つている。市では現在やっているところもあるが町村では聞いていないが三股の場合、住宅については特別な観点から考へているので果あたりの指導も仰いで検討してゆきたいと思つている。

○工業開発促進の件について
佐沢(利)議員 工業開発促進条例が今回提案されているが誠に結構なことである。町では今後工場を三股町に誘致する場合大体どの地区を予定しておられるか。

町長 低開発地域工業開発促進法による工業誘致として境原、植木地区で都城よりのところと、都三道路の沿線で都城に向つて左側の地区で年見川との間と競馬場地区もあげているがこれは都島高校三股牧場の関係で困難かと思つている。それに都城の高木工場用地の隣接地

区をあげている。これは都城駅が貨物駅であるので都城駅を中心に円をえがいてなるべく近いところの方が工場適地としてよからうという点から町が又農業が主体ということから農工調整ということを考えて、以上をあげている。これは通産省に登録されており、今後適当な工場を誘致することと努力してゆきたい。

佐沢(利)議員 大体地域の問題については分った。例えは都三道路の周辺に町が住宅を建てる。又民間が家をつくる。そういう場合土地が非常に昂騰してきて工場誘致する場合の難関となるのではないか。切角低法地帯に編入され、又条例も整備されるわけであるがこの際これらの面から計画ある検討を加える必要があるのではないかと思つている。又指導してゆく必要があるのではないかと考へるが、如何な考へか。

町長 用地の取得というところで非常に問題となるわけであり、土地が昂騰すると住む者も来ないということになる。できるだけ町が一定の開発機関をつくつて土地を確保することが望ましい。例えは都城市や宮崎市は開発

公団をつくり、これに市も出資をしている。本町の場合も大分県を例に開発会社の構想をもつたところもある。方法として年度内財政等の関係もあるから民間資金も導入して一定の土地を確保し、地価の昂騰を抑制するといふことが一番正しいゆき方ではないかと思つている。

○土地改良組合の職員待遇について
佐沢(利)議員 私は昨年の九月の議会でも町長に質問した。町長は役場職員に準ずるような方法でやつて行くかと答弁されたが其の後どうなつているか。

町長 調べてみるとまだ充分でない面があるようであるが今月の末に役場職員に準じたアップしてゆくこととゆうことになるようである。負担金で運営するとゆう関係もあり待遇も十分でない面もあるが一方仕事の方は構造改善の関連もあり日夜奮闘しておられるのでできるだけ町の職員と同じように処遇をして行く方向へ考へて行きたい。

佐沢(利)議員 ただ今の御答弁で大体分った。給料のみでなく共済制度や家族手当など、この方面の身分の保証とゆうことも考へて戴くよう希望

して質問を終る。

○公民館長の報酬等について
木田議員 三十九年度の予算を見ると中央公民館長という名称があるがこれは第一地区公民館長のことであると思つている。その中央公民館長は報酬額が二十四万円、他地区公民館長は十万と第一地区公民館長の方が多いうようである。その格差が余りに大きいようであるが、どんな考へか、次に地区公民館長はその地区の推せんした協力委員会が任命することになつているが中央公民館長もこんな方法で選任されるのか。

教育長 中央公民館というものは文部省の示された「公民館の設置及び運営に関する基準」の中に二つ以上の公民館を有する場合はそのうちの一つを中央公民館として、他の公民館で出来ないこと等を主としてやるということになつている。ただ今の予算については検討を要すると考へる。第二点の任命については各地区の方々と相談して適任者を教育委員会に諮つて任命したい。

木田議員 中央公民館長は第一地区の公民館長が兼ねるのだと私は解釈している。そうすると第一地

区公民館長は倍になると
思うのである。

町長 私の方から説明した
い。私としては教育と行
政の一体化ということ
非常に大きな眼目にして
公民館のことに熱を入れ
ている。中央公民館と地
区公民館とは性質が違
うので今木田議員が言わ
れたように第一と中央とは
将来合体となる時期があ
るかも知れないが当分は
別個の立場で運用してい
ただきたいと思ってい
る。従って違いがある
れば将来これは委員会と
相談して訂正したいと考
えている。

町長 私も中野議員の言わ
れるようにまあ非組合員
の多い中央地区は別とし
てその他の地域は一本化
の方がいいのではないか
と思っている。このこと
を組合に申し入れたら
が、一応農協としては二
十名単位の生産組合をつ
くるということであり、
原則は分離した考えとい
うことである。規約にし
ばられているのならこれ
を改正したらどうかとい
うことも申し入れた。

和田議員 公民館活動に伴
なう消防詰所の件である
が現在のところの消防の
行き方で行かれるか、或
は消防車をもう一台入れ
るとか、御意志はない
か、ということをお伺い
したい。

町長 消防団は義勇消防と
申すか、現在の制度では
なかなか人間がおらずに
出初式の日には人をそろ
えるのに各地区とも困っ
ていることは御承知の通り
である。常備消防につい
ては人口、市街地その他
の基準があり、町として
該当するところが、高
鍋町等二、三あるが当町
はあてはまらない。しか
るに農家の若い者はほと
んどいって、い、程町外
に出て行く、従来のまま
では困難だと思つのであ
る。しかし道路も整備さ
れたので当分は現在のよ
うな本部に消防車、各部
落に可搬ということで行
くことになるが、行く行
くは常備消防に準ずる方
向になるかと思つてい
る。そういうことで検討
を加えている。次に詰所
であるがこれは従来も一
定の基準のもとに整備を
しておりそういう方向で
行きたい。

町長 消防については
よく分った。夜警詰所が
各部落とも腐っているよ
うである。これについて
部落で建設の話もある
が、町から助成がもらえ
るか。

町長 従来、車庫は町の備
品として町が協力してや
っている。詰所を別個に
造ることについては部落
で負担していただいてい
る。ただし電燈等につい
ては町が応援する、こう
いう方針がいいのではな
いかと考えている。

蔵元議員 従来は公民館長
が沢山いて当局はいろいろ
る部落の声を聞いておら
れた。今後公民館長が七
名ということになると部
落の声を聞かれるのにと
う考えておられるか。

町長 従来から地区巡り公
民館という町政について
の話し合いの場を設けて
いた。今後は地区公民館
を中心としてその活動を
通じて住民の声を聞く機
会も多くなるのじゃない
かと思つている。又議員
の皆さん方が住民の代表
であるので御意見を伺っ
て充分住民の声を政治に
反映するよう心掛けてき
たい。

川原議員 公民館活動並び
に組織についてはいろいろ
るうわさされ又地区、地
区の立場もあることであ
りどれ程の事業量がある
か。私達には分らないの
である。勿論公民館主宰

町長 花谷ダムの事業は一
応中止できておるわけで
あるがこのままではいか
んということではしばしば
農林省や県当局から勧告
を受けている。ダムを全
然やらんということには
いかないうことでそこを
よびやつて多少の水
を流す。一方中野水路の
水量は多いが途中の漏水
が多いということである
のであ水路を県営でや
るということになり、目
下測量調査中である。そ
の一環として谷の上園

町長 財政事情の公表を行
なつていないことは誠に
遺憾であるが今後公表す
る積りである。従来分り
易くということでは地区巡
り公民館研修で説明はし
ている。一方長期行財政
計画であるがこれは既に
できていますので次の機会
に皆さんの御承認を得た
いと考えている。

町長 財政事情の公表は行
なつていないことは誠に
遺憾であるが今後公表す
る積りである。従来分り
易くということでは地区巡
り公民館研修で説明はし
ている。一方長期行財政
計画であるがこれは既に
できていますので次の機会
に皆さんの御承認を得た
いと考えている。

町長 財政事情の公表は行
なつていないことは誠に
遺憾であるが今後公表す
る積りである。従来分り
易くということでは地区巡
り公民館研修で説明はし
ている。一方長期行財政
計画であるがこれは既に
できていますので次の機会
に皆さんの御承認を得た
いと考えている。

町長 財政事情の公表は行
なつていないことは誠に
遺憾であるが今後公表す
る積りである。従来分り
易くということでは地区巡
り公民館研修で説明はし
ている。一方長期行財政
計画であるがこれは既に
できていますので次の機会
に皆さんの御承認を得た
いと考えている。



この人達が 地区公民館長さんです

三股町の公民館活動は全
国的に知られております。
近時県内外よりの視察団が
後を絶たず、その応待にう
れしい悲鳴をあげておりま
す。

私達は県内外から期待と注
目をあつめてこの制度
を愈々充実、発展させてい
きたいものであります。
ここにその各地区公民館長
さん方を御紹介いたします

更に今年四月より発足した
地区公民館制度においては
新時代に即応した革新的な
ものとして、私達町民の勇
気と決断に瞳目と賞賛のま
なこをもつて見られており
ます。

競馬場跡の東、花見原に
その看板も麗々しく、近代
的設備と広大な敷地を持つ
都島高校三股牧場がありま
す。

都島高校の牧場開き

5月24日
ここにち畜
産を基幹と
した農業の
企業経営が
強く叫ばれ
ております
が、その時
代の要請に
応じ、都島
高校におい
ては昭和三
七年度に畜
産課を新
設、更にそ
の必要性と
地域住民の要望に
代化農業教育学習の場とし
て、畜産を主軸とした農業
自営者並びに技術者養成を

目的としてこの牧場を建設
されたものであります。
去る五月二十四日盛大に牧
場開きが行われ喜びの都島
高校長は「三股町をはじめ
地域住民の物心両面による
協賛を得てここに牧場が完
成、私共は地域農業のセン
ターとして近代農業の推進
母体となつてその要望に
「たい」とその決意をのべ
られ、又ここに学ぶ生徒も
勇躍として「新しい未来
の農業経営者となるために
努力します」とその喜びは
格別なものがあります。



養鶏二、〇〇〇羽を目標と
して年収一千万円の運営計
画がなされております。

今後の災害復旧には 受益者負担金がなくなる

町条例が改正

耕地災害を受けた場合は
災害復旧事業によって復旧
工事を施行いたしますが、
これは一カ所の復旧者が一
〇万円以上ならなければ
農林省の承認の対象となる
ことが出来ません。
又この復旧事業費は従来地
元負担金として受益者も一

部を負担しておりましたが
今回町分担保金条例が廃止
されて、昭和三九年度より
施行される復旧工事(三七
年度災害未施行分を含む)
から国の補助金と町費だけ
をもって災害復旧工事を
行うようになりました。

有難うございました。
次の新郎、新婦の婚礼にあ
たって
一金二千元
新郎 内村尚道
新婦 やす子
一金二千元
新郎 中島 功
新婦 トミ子

池、更に堂領池から宮村
附近まで行くと思うが、
まだ設計が完全に出上
つてないので事業量も判
明していない。希望とし
てはなるべく地元負担を
軽くするよう県の耕地課
長さんに申し上げてある

町長 財政事情の公表は行
なつていないことは誠に
遺憾であるが今後公表す
る積りである。従来分り
易くということでは地区巡
り公民館研修で説明はし
ている。一方長期行財政
計画であるがこれは既に
できていますので次の機会
に皆さんの御承認を得た
いと考えている。

町長 財政事情の公表は行
なつていないことは誠に
遺憾であるが今後公表す
る積りである。従来分り
易くということでは地区巡
り公民館研修で説明はし
ている。一方長期行財政
計画であるがこれは既に
できていますので次の機会
に皆さんの御承認を得た
いと考えている。

町長 財政事情の公表は行
なつていないことは誠に
遺憾であるが今後公表す
る積りである。従来分り
易くということでは地区巡
り公民館研修で説明はし
ている。一方長期行財政
計画であるがこれは既に
できていますので次の機会
に皆さんの御承認を得た
いと考えている。

台風から
災害を防ごう
災害は人災であるといふ
いわれます。
今年もそろそろ台風と集中
豪雨のシーズンです。農地
や水路、井堰、農道など災
害を受けやすいような処が
町内にもあちこちにあるよ
うに見受けられます。
ころばぬ先の杖と申します
が今後も台風や集中豪雨
を受けても被害を最少限に
くいとめるために今から補
強策を講じておきましょう
そして今後の災害には充分
注意して、被害を受けた場
合は災害箇所、被害の程度
など早急に町耕地課まで通
報して下さい。

愛の寄附
その御遺族から
一金二千元 故木佐メ
一金二千元 故久松 泰
一金二千元 故池田司郎
一金二千元 故東村清二
それぞれ寄附をいただきま
したので御意志にそつて社
会福祉事業に有意義に活用
させて頂きます。

町長 財政事情の公表は行
なつていないことは誠に
遺憾であるが今後公表す
る積りである。従来分り
易くということでは地区巡
り公民館研修で説明はし
ている。一方長期行財政
計画であるがこれは既に
できていますので次の機会
に皆さんの御承認を得た
いと考えている。

この赤ちゃん達が健康優良児です

赤ちゃんは平和な家庭のシンボルです。丈夫に育てたい、健康に育ってほしいという気持は世の親の常です。最近お母さん方の育児知識は高まり、乳児の発育も又非常に良くなってまいります。

毎年春秋二回乳児検診が実施されておりますが、今春の乳児検診には標準以上の赤ちゃんが受診者の半数以上



上にも達して、年々上昇の傾向にあり、審査される先生方も優良乳児の順位を決めるのに苦労される程です。いかめしい？審査員を前にして声を大にして雄叫びして、ゆくすえたのもしき男の子、にっこり愛きょうを振りまく未来の才媛、こうしたほほ笑ましい審査風景の中に男女それぞれ五名の赤ちゃんが優良児に選ばれました。

そして昨年の秋に選ばれた優良児とともに去る五月五日、子供の日の良き日にそれぞれ町長より表彰を受けました。

「健康に勝る宝はなし」お母さん方の喜びはかくしきれないものがありました。昔から「幸福な家庭は先ず健康から」とよく云われております。乳児検診の趣旨はコンクールにあるのではなく、子供の発育状態をよく知って、正しい育児知識を身につけるためであります。今後の乳児検診には全員洩れなく受診して下さい。又母子手帳には予防接種の記帳や、言語、運動、精神発達の状況等を記入しておいて子供の健康管理に充分活用いたしましょう。

昭和39年度：町税等納期一覧表

今月の	税金は	いくら
4月	軽自動車税 全期	円
5月	固定資産税 1期	
6月	県町民税 1月 保険税協 1月 社	
7月	固定資産税 2月 水稲共済掛金 1月	
8月	県町民税 2月 保険税協 2月 水稲共済掛金 2月 社	
9月	水稲共済掛金 3月 陸稲共済掛金 全	
10月	県町民税 3月 保険税協 3月 社	
11月	固定資産税 3月	
12月	保険税 4月	
1月	県町民税 4月 保険税協 4月 社	
2月	固定資産税 4月 麦共済掛金 全	
3月	なし	
毎月	国民年金保険料 家畜共済掛金 水道料	

● 税額を記入しておきましょう。

● 見やすいところに張りつけておきましょう。

電線附近の伐採は危険です

九州電力では次のことを呼びかけております。お互いに電気の事故をおこさないように協力しましょう。

○電線の近くの樹木を切られる時或いはあやまって木を倒しかけた場合は、すぐ最寄りの九州電力に連絡しましょう。

○切れた電線にも電気は通っています絶対にはさわらないように注意しましょう。

鉄筋校舎

十教室が完成

三股小

昨年一〇月淵脇組の手によって、工事費二、二〇〇万円をもって着工していた三股小学校一〇教室の鉄筋校舎がこのほど完成いたしました。

新らしき我が学びのやに学ぶ児童等の顔も未来の夢をえがいて喜々として勉強にほころびるものがあります。

二階建ての優美な、校舎は初夏の陽光と緑の中にあざやかにコントラストを呈して

